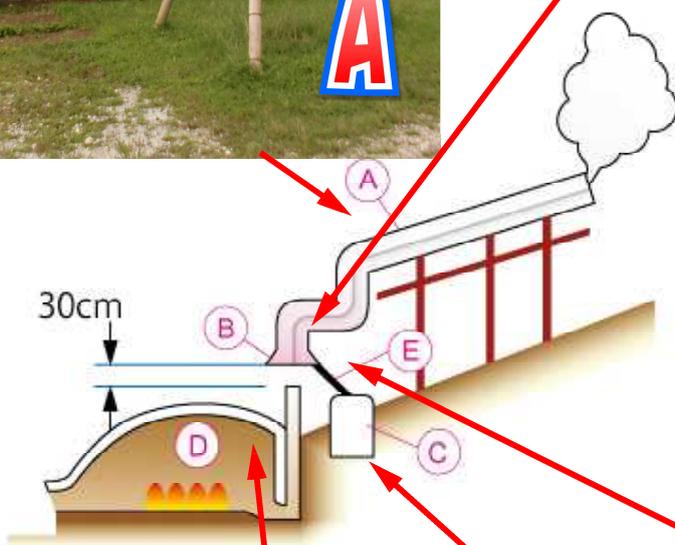
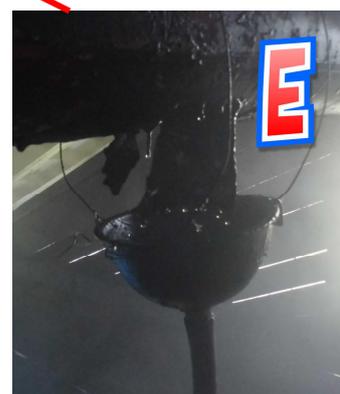


木酢液ができるまで

窯（かま）の中で炭を焼くと、たくさんの煙が出ます。この煙の中には水蒸気と、木材が熱によって分解された成分が含まれているのですが、図のAのような長いパイプをつたわって冷やされると、粗木酢液が滴になって落ちてきます。その滴は木酢液流送パイプをつたわってタンクに溜められていきます。ろ過して不純物が取り除かれ、木酢液となります。上澄みが木酢液、下層が木タールもしくは沈降タールと呼ばれます。



- A:回収装置(ステンレスパイプ)
- B:回収装置フード
- C:木酢液タンク
- D:炭窯
- E:木酢液流送パイプ



木酢液について

木酢液（もくさくえき）は、炭を焼いたときに抽出されます。

木酢液は、成分の80～90%が水分で、残りが有機化合物です。主成分は酢酸で、

PH3前後の酸性です。（水素イオン濃度を示す指数。酸性・アルカリ性の度合いを示し、PH7が中性です。）

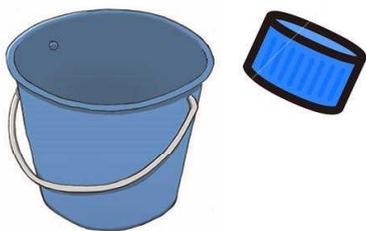
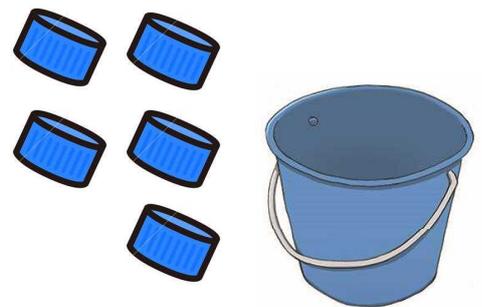
元より木酢液は、防虫・防臭・土壌改良など、環境にやさしい液体として、使われています。木酢液のどの成分が、どう反応しているのかといった、具体的な研究結果はまだありませんが、良い土で植物が健康に育っていくことが、結果的においしい果実を収穫できたり、病虫害の防除につながったりしていることは、わかってきています。

※ 飲めません。

◎殺菌・消臭

台所、トイレ、風呂場、押入れ、居間などに霧吹きで噴霧してください。ペットに使用する場合、目に入らないように気をつけてください。

16リットル（18リットルのバケツ9分目位）に
キャップ5杯（木酢液を100倍に薄める）



◎植物の栄養（庭の花、盆栽、家庭菜園など）

普通の水やりと同じようにお使いください。

◎切り花

花瓶に木酢液を1～2滴たらすと花が長持ちします。

16リットル（18リットルのバケツ9分目位）にキャップ1杯
（木酢液を500倍に薄める）

◎土壌改良（家庭菜園など）

土に掛けて耕してください。（土壌が疲労しているほど効果的です）肥料の吸収が良くなり有用な微生物を増殖させる働きがあります。

16リットル（18リットルのバケツ9分目位）にキャップ半杯
（木酢液を1000倍に薄める）

